

2019年度 もうひとつの放課後探しプロジェクト

活動報告書



目次

目次	2
大学生スタッフ(カゴメン)について	3
キックオフイベントについて	4
プロジェクトークについて	5
今年度実施プロジェクトについて	
・おせちイベント	6
1. はじめに	6
2. 企画ミーティング	7
3. 企画当日	7
4. 最後に	
・もっとほっとパーティー	
1. はじめに	8
2. 企画ミーティング	9
3. 企画当日	10
4. 最後に	10
・Unique Personality Fashion Festival (ファッションショー)	
1. はじめに	11
2. 企画ミーティング	11
3. 企画当日	12
4. 最後に	13
・保護犬カフェ	
1. はじめに	14
2. 企画ミーティング	14.15
3. 企画当日	16
4. 最後に	16
・ひよりんs sweet house	
1. はじめに	17
2. 企画ミーティング	17.18
3. 企画当日	19.20
4. 最後に	21
・Bear House	
1. はじめに	22
2. 企画ミーティング	22

3. 企画当日	23
4. 最後に	24
・ YEC曲&PVづくり	
1. はじめに	25
2. 企画ミーティング	25
3. 企画当日	25
4. 最後に	26
放プロ報告会について	27
収支報告	28
支出の部	
収入の部	
おわりに	29

大学生スタッフ(カゴメン)について

”カゴメン”とは、もうひとつのほう「かご」探しプロジェクト「メン」バーの略であり、このプロジェクトの大学生スタッフを指します。この大学生という立場は、中高生世代の若者にとって大きな意味があります。大人よりも近く、でも困った時には頼りにできる。大学生は中高生世代の若者にとってお兄さんお姉さんのような存在になれると私たちは考え、この放プロのサポートスタッフに大学生を選んでいきます。

カゴメンの役割は、中高生をエンパワメントすることです。具体的には、中高生の心の中にあるやりたいことを一緒に探すこと、それを実現するために中高生と一緒に悩むこと、放プロを中高生にとって居心地の良い居場所にする、中高生に自信を持って活動してもらうために背中を押ししたり見守ったりすることなどです。

カゴメンとして中高生を適切にエンパワメントすることは非常に難しいことです。そのため、中高生と関わる約1ヶ月前から「カゴメン研修」を行います。カゴメン研修では、中高生との関わり方や、放プロでのルール、カゴメンとしての意識・責任形成などを行います。この研修によって放プロ本番の心の準備をし、より適切に中高生と関わるができます。

また、放プロの進行中には、カゴメンが日々中高生と関わる中で生まれる沢山の悩みを共有し、解決策を考えたり、各企画の進捗状況を共有し、アドバイスしあう場として「カゴメンミーティング」を開催したりします。



↑カゴメンミーティングの様子

キックオフイベントについて

キックオフイベントとは、放プロが始動して初めての参加者の中高生とカゴメンとの全員の顔合わせイベントです。このイベントは、カゴメンと中高生だけでなく、中高生同士の親交も深め、これから半年間、一緒に活動をしていく仲間とのより良い関係を築く第一歩となります。また、このイベントでは、参加者である中高生が放プロでやりたいことを探すための「マインドマップ」を作成します。マインドマップには自分の好きなもの、興味のあること、自分を形成しているものなど自分に関わることをできるだけ沢山書き出します。このマインドマップをもとに半年間で実現を目指す企画を決めるので、キックオフイベントは非常に重要な場だと考えています。



プロジェクトークについて

プロジェクトークとは、本プロジェクトに参加している中高生とカゴメンが集まり、各企画の進捗状況を確認したり、中高生同士の交流を目的とした会です。

9月から月1回のペースで行っています。

また、プロジェクトークの後には、カゴメンだけでその日の振り返り会を行い、中高生の様子、自分と自分以外のカゴメンの中高生に対する接し方はどうだったか、などを話し合います。



今年度実施プロジェクトについて

おせちイベント

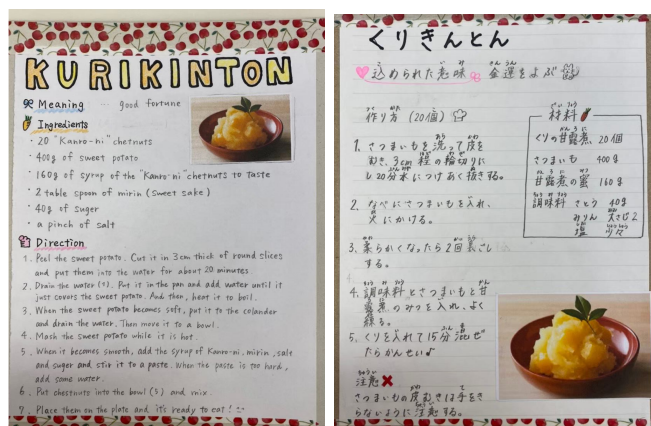
実施日	1月12日
場所	アイセル21 2階 食工房

1.はじめに

「日本にきてても日本人と関われない、言葉の壁があり、辛い思いをして自殺してしまう人がいる。」企画者の高校1年生の女の子がテレビでそんな日本に住む外国人たちを知ったことからこの企画は始まりました。

2.企画ミーティング

外国人に日本の良さを知ってもらいたい、日本人でも自分たちの文化を良く知らない、そこで、日本文化を使った日本人と外国人の交流の場を作ろう！としたのですが、日本文化と一口に言っても様々です。イベントで何をしようかと悩んでいた時、企画者の姉から「一緒に食べ物を作って食べることをした方が打ち解けやすい空間を作れる」とアドバイスを受け、時期と日本文化を伝えるということを考慮した上でおせちイベントになりました。そこからは参加者数や会場を決めることでイベントの規模を、作る料理や量を決めることで予算をあらかじめ出し、企画当日まで準備を重ねました。



↑日本語と英語で作成したおせち料理のレシピ

3.企画当日

おせちイベントには日本、韓国、中国、スリランカ、カナダの5カ国、計20の方が参加してくださいました。

事前に考えてあったグループに分かれて、レシピを見ながら協力しておせち料理を作りました。動画や写真を撮ったり、お話ししたりしながら、楽しい時間を過ごしました。料理ができると、写真のように大皿に盛り付け、自分のお皿に取って食べました。それから、参加者さんの号令で「いただきます！」をしました。料理はどれも美味しく、幸せそうな笑顔がたくさん見られました。「ごちそうさま」をした後、そのまま解散するかと思われましたが、参加者さんが自ら食器を洗って片付けをしてくれました。

参加者さんからは、「言葉が全く喋れないから海外の人と接するのは苦手だけど、怖がらなくても大丈夫なんだと思いました。」「日本人だけど、おせちに込められた意味を全く知らなかったので、自国の文化を知ることが出来て良かったです。」などの声をいただき、嬉しく思いました。



4.最後に

企画者の高校生が「自分が作りたかった空間を作ることができた」と言ってくれて、本当によかったです。また、自分のやりたいことを声に出すことの大切さや、放プロを通して自分の中に起こった変化を感じたようで、カゴメンとしてとても嬉しかったです。

イベントに参加して下さった方々、企画に関わって下さった方々、本当にありがとうございました。



もっとほっとパーティー

実施日	2月23日
場所	静岡市青少年研修センター

1.はじめに

もっとほっとパーティーは、3年前から放プロに参加してくれているEDMが大好きな高校生の男の子が、音楽を聴きながらみんなでご飯を食べたり、ボードゲームで遊んだりして、「もっと仲良くなりたい」という思いから生まれた企画です。

2.企画ミーティング

企画ミーティングは月に1、2回程度、主に新静岡セノバのフードコートで行いました。パーティーを開催するにあたって、いつ・どこで・どんなパーティーにしたいか、みんなが楽しんでくれるにはどんなゲームを用意したらいいのか、などを中心に話し合いを重ねました。また、DJをやりたいという思いがあったためパソコンに彼の好きな曲を入れ、それを解析するという事も進めていきました。



↑企画ミーティングの様子

3.企画当日

本番は2月23日に静岡市青少年研修センターの会議室で実施され、企画を主催した高校生、カゴメン10人、YECのOG1人の計12人で会が開かれました。

企画の名前の由来にもなった、ほっともったのオードブル、お菓子、ケンタッキーやドーナツを持ってきてくれたカゴメンもいて、とても豪華なパーティーになりました。また、イントロクイズやボードゲームをみんなで楽しみ、笑顔が溢れて、より仲良くなれた素敵な時間でした。

最後には、彼がDJを披露してくれ、みんなが「すごい！」と驚いている様子や彼の楽しそうな姿が印象的でした。主催した高校生が本当に音楽が好きなんだという思いが伝わってきました。具体的なタイムテーブルは決めず、その場の雰囲気に合わせて、次に何をするかをみんなで決めました。自由な雰囲気でみんながリラックスできていて、とても楽しい時間となりました。



↑オードブルなどのご飯



↑DJをやっている様子



↑みんなでの集合写真

4.最後に

短い準備期間でしたが、企画を主催した高校生の思いが形にできた、とてもいい時間になりました。本番で施設を貸してくださった皆様、参加してくださった皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

ファッションショー

(Unique Personality Fashion Festival)

実施日	2月22日
場所	静岡市民文化会館 4F B展示室

1.はじめに

この企画は過去の「もうひとつの放課後探しプロジェクト」のファッションショーの企画にモデルとして参加した高校生が、誰もが個性を活かし、輝くことができるチャンスを作りたいという思いから誕生した企画です。

2.企画ミーティング

毎月のプロジェクトに加え、月に2~3回程度、企画ミーティングを行いました。企画ミーティングでは、まずイベントの開催までにどんな準備が必要かをリスト化し、リスト化されたものに優先順位をつけて、毎回のミーティングで何をするか決め、進めていきました。会場の下見や予約、協賛・衣装協力してくださるお店への協力依頼はなかなかできない貴重な体験だったと思います。モデル募集、ファッションショー本番のチラシは企画者の高校生自身が手掛けました。モデルには、企画した高校生の友達から過去の参加者、モデル経験のある一般の方まで約20名の方が応募してくださいました。

当日のヘアメイクは池田美容学校さんの生徒さんにご協力頂き、本番当日までに、モデルさんの衣装に合ったヘアメイクを考えてくださいました。また、会場を盛り上げるためにダンススタジオのgrand-Gee-groovyさんにもご協力頂きました。企画当日のタイムテーブルやレッドカーペットの歩き方も高校生自身が考え、彼女の思い描くショーにできるよう、話し合いを進めました。

Unique Personality Fashion Festival
in 静岡市民文化会館 4F: B展示室

2020/02/22 (Sat)

13:00~ OPEN 13:30~ START

For each their own
「十人十色」

\前売りだと100円お得♡/
当日チケット

大人(大学生含む): ¥500

高校生: ¥400

中学生: ¥300

小学生以下: 無料



前売り券は
QRコードから

Instagram→@fashionshow_2018

Twitter→@fashionfes_s292

【主催】UPF2実行委員会
【お問合せ】fashocola.taro@gmail.com
【協力】池田美容学校 grand-Gee-groovy SPINNS HEIGHTS The Thrift Tokyo shizuoka
chubbyXeight scooby #べべわーるとりぼっぺ

高校生が1から企画する
ファッションショー!

↑本番当日のチラシ

3.企画当日

2020年2月22日、約半年間準備を経て、ファッションショー当日を迎えました。開場まで、多くの準備がありましたが、当日スタッフや企画者の高校生自身がモデルさん達への指示を積極的に行い、予定通りファッションショーを開催することができました。

ショー本番中はモデルさんがレッドカーペット上を歩く姿がとても輝いていました。高校生の企画への思いが実際に表れていました。またモデルさん達からも「楽しかった」、「貴重な体験ができた」、「いい思い出になった」などの言葉を沢山頂きました。企画本番まで様々な準備をして、その中でうまくいかないことや悩んだこともありましたが、沢山の方の

ご協力をいただき、無事本番を終えることができました。



↑モデルの皆さんの集合写真

4.最後に

今回で放プロ4回目のファッションショーでした。本当にたくさんの人のご協力があった、ここまで続けることができました。1人の高校生の思いから始まり、たくさんの人のご協力をいただけたことに感謝いたします。ファッションショーを開催する上で、大変なこと、悩むことも多々ありましたが、最後に、参加してくれた高校生が笑顔で、「ファッションショーできて本当に良かったです！」と、声をかけてくれたのが何より嬉しかったです。モデルとして参加していただいた皆様、ヘアメイクをお引き受けいただいた池田美容学校の皆様、オープニングダンスで盛り上げていただいたgrand-Gee-groovyの皆様、当日会場に足を運んでいただいた皆様、すべての方のご協力に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

保護犬カフェ

実施日	3月7日(中止)
場所	動物愛護館

1.はじめに

この企画は犬好きの中学生の女の子の保護犬の殺処分を少しでも減らしたいという思いから誕生した企画です。

2.企画ミーティング

毎月のプロジェクトクに加えて、月に1、2回程度、主に清水のペイドルームで行いました。企画ミーティングを行う毎にどこで開催し、どんな企画にするかという企画の具体化を一緒に行って本番に近づけていきました。また、企画を進めるにあたってラディアンテ様、動物愛護館様、その小さいのち守りたいプロジェクトの皆様にご協力していただきました。



↑保健所を訪れた時の様子



↑企画ミーティングの様子

3.企画当日

企画本番は新型コロナウイルスの影響により、開催できませんでした。

4.最後に

半年という短い期間でしたが、中高生が自分の思いを少しでも形にできたと実感してくれていたら嬉しいです。今回は新型コロナウイルスの影響により開催できませんでしたが、また機会があればどんな形であれ、開催できたらいいなと思います。また、協力していただいた団体の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

ひよりん's sweet house

実施日	12月22日
場所	南部生涯学習センター 2階 調理室

1.はじめに

この企画はお菓子作りが好きで得意な中学生の女の子が、大きなお菓子の家を1から全て手作りで作りたい、という思いから誕生した企画です。

2.企画ミーティング

企画ミーティングは月に1、2回程度、イオン清水店のフードコートで行いました。

企画ミーティングの中では、どのようなお菓子の家のデザインにするのか、お菓子作りについてのレシピを使うかの検討、予算書の記入、試作や本番の日のタイムテーブル作りなどを中学生と一緒に話し合い、進めていきました。本番前の最後の企画ミーティングでは、イオン清水店で、トッピングなどの材料の買い出しをしました。

また、本番の前には1度試作を行い、調べたレシピでお菓子の家ができるかを確認しました。試作後には反省会を行い、クッキーが厚すぎた、水分が足りなかった、お菓子の家の土台が天板に入りきらなかったなどの反省点を本番のお菓子の家作りに生かしました。

また、企画本番後の企画ミーティングでは、中学生と一緒に決算書を、施設を利用していただいた南部生涯学習センターに提出しに行きました。



↑企画ミーティングの様子



↑試作で作ったお菓子の家

3.企画当日

2019年12月22日、企画者である中学生の誕生日に南部生涯学習センターにおいて、企画した中学生、企画した中学生の友達6人、企画した中学生のお母さん、YECメンバー5人の合計13人でお菓子の家作りを行いました。企画した中学生と担当カゴメンは早めに集合し、材料の買い出し、会場の準備をして参加者さんを迎えました。家の土台のクッキーを作るグループ、マカロンを作るグループ、プレッツェルを作るグループ、シュークリームとマシュマロを作る4グループに分かれてお菓子を作っていました。それぞれ担当のお菓子を作ったあとは、みんなで協力してお菓子の家を建てていきました。作られたお菓子の家は市販ではなく、1から手作りしたものでお菓子の家を作りたいという、企画した中学生の気持ちによってほとんど手作りのお菓子で作られた特別なものになりました。

お菓子を作っている最中には、企画者である中学生が、参加者さんにどう作業を進めていくのかを優しく教えている場面が多々見られ、とても頼もしく感じました。本番当日は企画した中学生の誕生日だったので、サプライズで参加者全員で誕生日をお祝いしました。最後はみんなで建てたお菓子の家をテーブルを囲みながら、楽しく食べました。笑顔あふれる素敵な会になりました。



↑お菓子の家を飾り付けしている様子



↑本番の日に作ったお菓子の家と参加者の皆さん

4.最後に

参加してくれた中学生とカゴメンが雑談を交えながら、和気あいあいとした楽しい雰囲気
で作業を進め、中学生の思いの詰まった素敵なお菓子の家を作ることができたとても良い会
になりました。試作、本番の日に施設を貸してくださった南部生涯学習センターの皆様、
協力してくださった全ての方々にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

Bear House

実施日	3月5日
場所	アイセル21 2階 食工房

1.はじめに

この企画は、中学3年生の女の子が好きなお菓子を使って、オリジナルの可愛いお菓子の家をつくってみたい、という思いから誕生した企画です。

2.企画ミーティング

企画ミーティングは計12回行い、エスパルスドリームプラザのフロア内や清水駅前のマクドナルド、イオン清水店など、場所を変えながら行いました。企画ミーティングでは、中高生の学校や部活動の都合でミーティングの時間をつくるのが難しかったこと、また企画の開催場所を確保することが大変でした。試作会が近づくにつれ、ミーティングの頻度が上がり、開催場所の予約、お菓子の家のデザインの決定、試作会参加者の募集を行いました。また、話し合いだけでなく、実際にスーパーや駄菓子屋に足を運んで、材料を選び、またその材料の値段を調べ、それをもとに予算を確定させていきました。試作会は、企画本番と同様、アイセル21の食工房で行われました。中高生2人、大学生4人の計6人が参加し、材料調達から当日の流れを確認しました。また、お菓子の家を作る上での課題を見つけることができました。

試作会後から本番までには、ミーティングを行う機会がなかなかつけない時期が続きましたが、短い時間の中で、試作会での反省やお菓子の家の材料、デザインの見直しを行い、本番に向けて準備を進めていきました。



↑企画ミーティングの様子



↑試作品のお菓子の家が完成した様子

3.企画当日

2020年3月5日にアイセル21の2階食工房で企画が行われました。参加者は大学生7名、中高生7名の計14名で、中高生は企画を主催した女の子の友達、お兄さんが当日参加してくれました。企画本番では、試作会の流れをもとに作業工程の順番を工夫しました。女の子はアニメーションキャラクターの「くまのプーさん」が好きであることもあり、クマをモチーフにしたアイシングクッキーやくまの形のマフィンを作りました。

主催した女の子はリーダーシップをとることにあまり慣れていない様子でしたが、積極的に行動し、企画をよくしようとしている姿が印象的でした。彼女の思いが形になった瞬間でした。



↑企画本番でお菓子の家が完成した様子



↑完成したお菓子の家

4.最後に

半年間という短い期間でミーティングを重ねて、中学生とカゴメンとが仲良く協力しながら頑張り、企画本番では試作での反省をしっかりと活かしつつ、中学生の素直な思いが素敵な企画として完成しました。

コロナウイルスが流行し始めた時期に、衛生面に配慮して施設を提供して下さったアイセル21の皆様、また試作、本番を含め企画に参加して下さった全ての皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

YEC曲&PV作り

実施日	1月17日
場所	すみやグッディ本店

1.はじめに

この企画は動画編集が得意な中学生の男の子が、実際にバンド演奏をしている様子を撮影し、撮影した映像に歌詞やCGなどを入れて動画を作りたい、という思いから誕生した企画です。

2.企画ミーティング

企画ミーティングは月に1、2回程度、MARK IS静岡のフードコートで行いました。実際に撮影で使うスタジオの見学、演奏者、演奏曲、撮影の方法、PVのイメージなどを中学生と一緒に話し合い、決定していきました。また企画ミーティングとは別に時間を設け、バンドの練習や練習風景の撮影も行いました。



↑企画ミーティングの様子



↑練習の様子

3.企画当日

2020年1月17日、すみやグッディ本店において、中学生、カゴメン7人の計8人で撮影を行いました。バンドは楽器が演奏できるカゴメンを集めて編成しました。当日はみんなで和気あいあいとした雰囲気の中で撮影をしました。みんなが自分の役割を最大限に発揮し、個々の技術を活かした気持ちの良い本番でした。また中学生も演奏している様子を実際に見て、心に残っているようでした。



↑演奏の様子



↑みんなでの集合写真

4.最後に

演奏してくれたカゴメン、練習の際、部室を貸して下さった静岡県立大学アコースティッククラブさん、他、この企画に関わって下さったすべての方にこの場をお借りして、お礼申し上げます。ご協力、本当にありがとうございました。

放プロ報告会について

放プロ報告会とは、本プロジェクトを終えた3月の終わり頃に行う報告会です。今期の報告会は、4月5日にコロナウイルス感染拡大防止、参加者の健康と安全を考慮して、オンライン(zoom)上で中高生とカゴメンのみで開催しました。報告会では中高生がこれまでの活動をパワーポイントにまとめ、一人一人発表してくれました。中高生からは「自分の意見を言えるようになった!」「自分のつくりたかった空間をつくることが出来た!」「色々な人との繋がりが出来た!」などの感想を聞くことができました。カゴメンとして中高生をサポート出来て良かったと心から思いました。また、報告会の中では賞状授与の時間を設け、カゴメンから中高生一人一人に賞状を贈りました。オンライン上ではありましたが、終始温かい雰囲気、たくさんの笑顔が見られる素敵な会になりました。



収支報告

支出の部

種別	摘要	金額
旅費交通費	MT等の交通費	¥ 145,505
消耗品費	模造紙代、紙コップ代、救急セット代、除菌シート代、文具代、出金伝票等	¥ 2,993
印刷製本費	募集チラシや報告会のチラシの印刷代	¥ 2,683
通信運搬費	中高生募集チラシ郵送費	¥ 10,080
食糧費	イベントでのお菓子、飲料代	¥ 3,669
賃借料	企画、イベントでの施設使用費	¥ 10,956
材料費	企画での材料費	¥ 27,465
	支出額合計	¥ 203,351

収入の部

種別	摘要	金額
助成金	ふじのくに未来財団 申請助成金額	¥ 145,000
自己資金		¥ 58,351
	収入額合計	¥ 203,351

おわりに

2019年度第10期「もうひとつの放課後探しプロジェクト」を実施するにあたり、ふじのくに未来財団助成事業静岡信用金庫「せいしん地域のちから基金」より助成金を頂きました。また、多くの方が私たちの活動にご協力くださいましたことを、心より感謝申し上げます。

令和2年度 4月30日

YEC(若者エンパワメント委員会)

【YEC(若者エンパワメント委員会とは)】

YECは静岡県立大学の学生を中心に活動しています。

若者が社会の一員として自身を持ち、社会の中で「こうありたい」という自分を実現させている状態、そしてそれを通じて若者が社会のチカラになっている状態を実現することを目指して発足しました。

内閣府担当特命大臣より平成25年度社会貢献青少年表彰をいただきました。

【お問い合わせ】

Email yec.information@gmail.com

HP <http://youth-empowerment.jimdo.com/>